

認知症キッズサポーター養成講座が開催されました

7月16日(火)多目的研修集会施設(愛ホール)にて、「認知症キッズサポーター養成講座」が開催されました。小清水町放課後児童クラブ室を利用している小学4年生から6年生が受講し、合計51名の認知症キッズサポーターが誕生しました。

講座はグループホーム陽だまり管理者、前田優水氏より認知症についての説明があった後、『認知症のおばあちゃん、財布がないと探していたら』と『認知症のおじいちゃんが孫を探し



て道に迷っていたら』という2種類の設定で寸劇が行われました。寸劇ではそれぞれの設定で良い対応・悪い対応が演じられ、どう対応したら良いかをみんなで考えました。
子ども達は熱心な様子で鑑賞し、「冷たく接するとおばあちゃんは怒っていたけれど、やさしく接するとおばあちゃんは笑顔になった。」と感想を話し、認知症になって困っている人を助け、やさしく接することの大切さを学習しました。



認知症サポーターは、特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する「認知症の人や家族の応援者」です。
『認知症サポーター養成講座』は、学校や自治会、職場、ボランティア団体、各種の集まりなど、年齢や人数を問わず、希望のある団体に対して開催しています。
受講希望の方は地域包括支援センターまで、お気軽にご相談下さい。

【お問い合わせ先】
地域包括支援センター 高齢者支援係 ☎ (62) 4473



捨て布・清拭用布を愛寿苑へ寄贈 小清水町赤十字奉仕団が作成

7月1日(月)に、小清水町赤十字奉仕団の皆さんが、捨て布・清拭用布を愛寿苑に、雑巾を小学校・保育所・幼稚園に寄贈しました。

この日、奉仕団50名の皆さんは多目的研修集会施設(愛ホール)にて各家庭の布を持ち寄り、慣れた手つきで捨て布4740枚、清拭

用布171枚、雑巾110枚を作成しました。

また、9月8日(日)には小清水町総合防災訓練にあわせて同団が参加する赤字フェスティバルが開催されます。詳細については今後、自治回覧等によりお知らせいたします。



白熱した試合に大きな声援 第43回町民ソフトボール大会が行われました

7月13・14日の2日間、第43回町民ソフトボール大会が開催されました。

初日に行われたフリーの部では「商工会青年部」が優勝し、ミドル・エイジの部では2試合にわたる激闘の末、紅組の優勝となりました。

2日目の自治会交流の部では、Aブロック「1区こぶ

し」、Bブロック「中斗美A」、Cブロック「泉連自治会」、Dブロック「止別連自治会」がそれぞれブロック優勝し、優勝カップ争奪を賭けたチャンピオン決定戦では、「1区こぶし」、「中斗美A」が優勝カップを手にしました。

思い出をもう一度

小清水町郷土資料館 展示公開

7月7日(土)、8日(日)の二日間、小清水町郷土資料館の一般公開が実施されました。

小清水町郷土資料館には、馬に引かせる運搬用ソリ「バチバチ」など、産業の歴史を感じさせる道具や、鳥獣のはく製、閉校した各小学校の資料・写真が收藏されています。

一般公開当日には町内外から多くの方が来館し、思い出の品を懐かしげに見学していました。



“ほがじゃ” お味見をどうぞ♪

約800名のサイクリストがほっと一息

7月13日〜14日に、雄武町から斜里町までを自転車で行く「ほがじゃ」が提供されました。

ゴール目の小清水町に到着したサイクリストたちは、手に取り、おいしそうに試食する姿が見られ、奮起して斜里町へ向かいました。

